

## 伊勢河崎のまちなみ

2001年に登録有形文化財に登録された格調高い近鉄宇治山田駅から、伊勢河崎に向かった。伊勢河崎商人館のチラシによると、河崎は伊勢のまちを支えた「台所」という。

16世紀頃から、伊勢神宮門前町の山田・宇治へ物資を運ぶために勢田川を利用した水上輸送と、物資を荷揚げして人馬で物資を送る陸上輸送を仲介する川の港と



して賑わった。江戸時代には「おかげまいり」の参宮客に物資を供給する問屋街として大きく成長した。

河崎のまちなみは、勢田川に並行して走る通り沿いに切妻屋根が続き、町家や蔵が並んでいる。河岸の家は裏口から川へ、荷物の積み下ろしができるようになっており、今もその名残りを見ることができる。河崎本通りには、「生活のにおいがする店」が並んでいる。はきもの屋さんの店先には、「ぶらり河崎今昔の里」という看板がかけられて

いた。本通りを散策していくと、伊勢河崎商人館に着いた。江戸時代に創業され



た酒問屋、河崎を代表する大きな商家であり、その建物を伊勢市が修復整備したものである。今はNPO法人伊勢河崎まちづくり衆が管理運営してい



る。そこで発行している「河崎かわら版」によると、様々な学びの会が開催されている。商人館で案内DVDを買ったので、じっくり河崎のまちなみを味わいたい。

(2009年12月24日 記)